

代表からのご挨拶

サンライズ・メイト・バート株式会社
代表取締役 井上 明美



いつも皆様方には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。寒さがひとしお身にしみることとなりました。師走、何かと気ぜわしいこの頃となりましたが皆様にかがお過ごしですか。

(かつせい) という有名な詩「夏之日冬之夜百歳之後歸千其居(そのきよにきせん)」意味は「夏の長き日冬の長き夜君はそこに眠っている。100歳の後私もいずれは君の元で眠ろう。安らかにその日を待ちたまえ」素敵なお詩ですね。愛しい人達との別れに夫や妻が思いを馳せる詩だと感じます。

来年も素晴らしい年でありますように心よりお祈り申し上げます。

中国最古の詩集と言われる「詩経」の中の葛生

サンライズの物語

見えないものを見る力——
これからの社会を想う物語



厚生労働省において「地域共生社会」の実現に向けて改革の基本コンセプトが具体的に進められております。高齢化や人口減少に伴う生活領域における支え合いの基盤が弱まっている中、再構築することにより様々な困難に直面した場合でも誰もが役割を持ち、お互いが配慮し存在を認め合い、支え合うことで孤立せずその人らしい生活が送ることができるような社会が求められているとのことだそうです。

先日役所の研修会でも講師が「皆さんは貧困に困っている子供達を町で見かけたことがありますか？無いでしょうね。それは見ようとしていないからです」と言われた時に衝撃を受けました。介護職に置き換えると認知症の方を町で見かける事は多々あります、同じ事ですとも言われておりました。

私達が見ようとしただけ・・・見えないものを見る力が問われていると感じました。

また幼児教育に携わっており、NPO法人として「こども食堂」をしている方と話をした時に「日によっては一人しか来ない時もあります。でも、一人でいいんですよ。一人を救えればその子供が生涯に関わる人達は何十人にもなる」とのこと。凄いなと思いました。

いま私達が何ができるのか？心のバリアフリーとも言われますがバリアを取り除けば気づくことができるともいわれてます。

共生社会、地域包括ケアシステムの強化のためにも、見えないものを見る力を養わなければならないと考えます。

サンライズのデイサービス陽光だより



【介護職】高木 加奈

サンライズのデイサービス陽光の介護職員の高木 加奈です、よろしくお願いいたします。
以前は小規模多機能型居宅介護で4年間、介護職員として務めておりました。デイサービスでの勤務は初めてですが今までの経験を活かして皆さまに喜んでいただけるサービスを提供できるように頑張っております。

【入社10/17】 【血液型B型】



井上から
エール！

しっかり者で頑張り屋さんの高木さんをどうぞよろしくお願いいたします！
月～木曜日に出勤しております。

介護に役立つ書籍紹介

仕事と介護の両立に悩んだとき読む本

著：山川 仁

働く人びとの中には、仕事と介護の両立が難しく、働く時間を短くしたり、いわゆる介護離職という形で転職したりする人などいます。

本書では、仕事と介護が難しくなる事例やデータをもとに「ビジネスパーソンを初めとする働く人びとに必要な、仕事と介護の両立をするための知識と心構え」をお伝えしていきます。



NEWS 今月のニュース

重度障害者支援拠点に 介護ロボットスーツ導入へ

社会福祉法人「ありのまま舎」（仙台市）は、宮城県亘理町に2019年3月に開設する重度障害者の地域生活支援拠点「亘理ありのまま舎」に、介護支援用ロボットスーツを導入する。介護業界は全国的に人手不足が深刻で、施設は十分な人員を集められていない。最先端機器の力で介助の負担を軽くするとともに、働きやすい環境をアピールし、人材確保につなげる考えだ。

導入を予定するのは、筑波大発のベンチャー企業サイバーダイ

（茨城県つくば市）が開発した「HAL（ハル）」1台。腰に装着するタイプで重さ約3キロ。脳から筋肉に伝わる電気信号を皮膚の表面から読み取り、介助の動作を支援する。腰への負担を最大で4割軽減できるという。価格は200万円。

介護現場では、ベッドから車いすへの移動、入浴、排せつ支援で入所者らを抱きかかえて移す介助を1日数十回行う職員もいる。ありのまま舎は昨秋、職員にHALを試着してもらった。「装着に手間がかかる」との指摘もあったが「負担が軽くなる」と評価する声が上がった。

ありのまま舎の白江浩常務理事は「人手不足は介護業界共通の悩み。ロボットスーツを導入することで多くの人材に興味を持ってもらえればありがたい。運営する他の施設でも導入を検討したい」と話す。



<河北新報
2018年12月13日(木) >

広報誌「ライジング・サン」のバックナンバーは、弊社ホームページでもご覧いただけます。

ぜひお立ち寄り下さいませ。 <http://www.samaba.jp/back-number/>